

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	楽器レッスン3（楽器テック）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必須	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	遠山倫広		実務経験の有無・職種	有、ローディ、楽器テック	
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロの世界が協働の場であることを理解し、ミュージシャンとしての楽器知識を得るとともにコンサート制作現場での職業についての知識も『楽器テック』を中心に学習する。出演者、裏方共通してどのような知識が必要で、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々の音楽活動においての楽器の扱い方を学び自分の機材をベストな状態を保てるようになる。またバンド活動などで、他パートの機材知識知ることによってセッティングの時間短縮、音色の理解につながるのアンサンブルの向上、リハ、本番での作業効率の向上することができる。プロになって活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会で協働することの重要性を理解することなどができるようになることが目標になる。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、まず講師よりその回のテーマとなる機材について基本的な使用方法、注意点をレクチャーする。その後実際に機材を使い実践して知識を習得する。回を重ねることで楽器全般の扱いを理解し。他のミュージシャンの機材も扱っていく。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。職業実践の観点から、授業中の受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ローディーワーク③		映像を見ながら現場の生の声を聴く		
2回	ギターアンプ研究		マーシャル、JC,MESAなどのアンプを聞き比べ特徴と長所を考察する		
3回	シンセ研究		シンセのピアノ、エレピ、オルガンなどを聞き比べ特徴と長所を考察する		
4回	ベースアンプ研究		Ampeg Markbase スピーカーケーブルを変えるなどを聞き比べ、特徴と長所を考察する		
5回	ドラム研究		インチ違いのドラムセットを聞き比べ特徴を考察する		
6回	バンドアンサンブル研究		バンド全体での音域バランス、ステレオバランスなど考察する		
7回	電源応用		電位差、グラウンドループを理解する		
8回	機材チェック		機材トラブルの対処法を身につける		
9回	現場見学①		コンサートイベント科見学（リハでのPAの音作り中心）		
10回	PA基礎II①		PAのおさらい		
11回	PA基礎Ⅱ②		Out スピーカーを鳴らしてみる		
12回	講師バンド実習Ⅱ①		プロバンドを呼び実際のサウンドを考察する		
13回	講師バンド実習Ⅱ②		プロバンドをセッティング、音作りを実践する		
14回	まとめ		前期まとめ		
15回	機材研究①		ツースバスセットを組んでみる		